

抽選

入場
無料

平成29年度 第2回 都医学研

都民講座

遺伝病の発症と症状を予測する

日時 平成29年6月15日(木) 14:30~16:00

場所 一橋講堂 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線 神保町駅 徒歩約4分
東京メトロ東西線 竹橋駅 徒歩約4分

遺伝子検査で遺伝性難聴の発症を予測して備える

国立病院機構 東京医療センター 臨床研究センター聴覚・平衡覚研究部 部長 松永 達雄

難聴があると言葉の習得、教育や就労、そして生活のコミュニケーションがとても困難となります。現在の遺伝子検査では、生まれたこどもが難聴であった場合に、その両親の次のこどもが難聴となる可能性や症状をある程度予測できます。小児期や成人してから難聴になられた方でも、今後の症状や難聴以外の症状が起こる可能性をある程度予測できます。このような予測は、難聴の診療に活用されていますので、具体的な例を示しながらお話しします。

モデル動物が遺伝病発症と病態を予測する

東京都医学総合研究所 哺乳類遺伝プロジェクトリーダー 吉川 欣亮

遺伝子に異常をもつ、あるいは遺伝子を破壊した疾患モデル動物は人間の病気の発症メカニズムの解明、治療法の解明のために重要な役割を担っています。また、近年のゲノム編集技術の開発・技術革新によって遺伝病の患者さんの遺伝子変異を再現したモデル動物を短期間に作製することが可能となりました。今回は松永先生の話を受け、難聴のモデル動物の有用性、特に、モデル動物を調べることが病態の発症と病態の予測にどのように役立つのか？その点を中心に紹介させていただきます。

定員 抽選で500名様

申込方法 事前申込制 往復ハガキまたは電子メールにて(1通につき2名様まで)

往復ハガキは、〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 事務局 研究推進課 普及広報係宛 住所、氏名(フリガナ)、参加希望人数、2名希望の場合は同伴者氏名、電話番号を記入し、「第2回都民講座希望」とご記入ください。

電子メールは、tomin@igakuken.or.jpへ 本文に氏名(フリガナ)、2名希望の場合は同伴者氏名、電話番号を入力し、件名に「第2回都民講座希望」と入力してください。

(申込締切: 5月29日(月)ハガキ: 消印有効 メール: 必着)

※無効となる場合がございますので、記入漏れのないようご注意ください。

※要約筆記をご希望の方は、要約筆記をご覧いただける座席にご案内いたします。

往復ハガキまたは電子メールに、「要約筆記希望」と記載いただきますよう、お願いいたします。

※応募メールを送信してから、3営業日以内に弊所からの受付メールが届かない場合は、恐れ入りますが、迷惑メールフォルダをご確認ください。迷惑メールフォルダにも不着のようでしたら、メールアドレス、本文、件名等を再確認いただき、メールの再送信をお願いいたします。

問合せ先

事務局 研究推進課 普及広報係 TEL 03-5316-3109 FAX 03-5316-3150

主催

公益財団法人 東京都医学総合研究所 URL <http://www.igakuken.or.jp>



公益財団法人
東京都医学総合研究所
Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

● 都医学研・都民講座の詳細は

都医学研 都民講座

検索

クリック!



← Twitterにて
都医学研のイベント情報公開中。
アクセスはこちら。
[@igakuken](https://twitter.com/igakuken) でつぶやいています!